

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	東部県民センター	氏名	金山 梨夏
派遣先 団体名	NPO法人バリアフリー・シネマ&ライフ・ネットワーク		
<p>① 研修の日時 平成29年7月から12月までの第2・4土曜、日曜のうち5日間 (別表参照)</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 著作権切れとなったパブリックドメイン作品(今年度は映画「我等の生涯の最良の年」)をバリアフリー化する補助を行った。主に吹き替え音声面での練習等の補助を行った。 7～9月は同法人主催の「声優塾」で映画の吹き替えに向けて練習のサポートをした。練習の前半では発声練習やナレーション練習を行い、後半は映画ピーターパンの映像に合わせてセリフを言うなど実際の録音形式に近い練習を行った。 10月以降はテクノアーク島根で日本語吹き替え音声の録音を行った。録音を控える人の練習相手や、音声ガイドや字幕に誤字脱字等がないか確認する作業をした。また、実際に映画の一場面に出てくる役の吹き替えにも挑戦した。</p> <p>③ 研修の感想 (研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。) 今回の研修では、補助としての仕事はもちろんだが、声優塾に参加している方々と話すことにも意識して参加した。 中には自分は学校ではあまり目立たないタイプだと話す塾生でも、声優塾で楽しそうに自分の好きなことを話し、練習では積極的に自分から行動していた。こういった同年代が集まっている中で自分が生き生きと活躍できる場を求めている中高生は他にもたくさんいるのではないかと感じた。 また、鳥取で開催されている「声優魂」という大会に出場する生徒もいた。声優塾を通して自分の夢を実現させたいという思いを強くし、実際に行動する姿に驚いた。これは、大会に挑戦する生徒たちを熱く応援し、簡単に夢をあきらめず今自分に何ができるか考えるよう指導する、同法人代表の中嶋理事長に依るところが大きいと思われる。 同法人は大きな目標としては映画のバリアフリー化をすることだが、それだけでなく若者達の精神面を支えたり、成長させたりする役割も担っていると感じた。</p> <p>④ その他特記事項 (※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)</p>			

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成30年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。

日程	内容	場所
7月22日(土)	声優練習及び練習補助	サンアビリティーズいずも
8月13日(日)	同上	松江市市民活動センター研修室
10月7日(土)	音声収録及び収録補助	テクノアーク島根
10月22日(日)	同上	同上
12月10日(日)	映画上映会(ハートピアいずも)の補助	大社文化プレイスうらら館

<テクノアーク島根での録音の様子>

